

TOTO

リモデル便器

BM

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「禁止」を示します。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。
---	----------------------------------	---	---------------------------------------

注意

	便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に 故障や水漏れの原因になります。

別途発注部品

名称	品番		備考
	新設	リモデル	
排水フランジ (塩ビ配管用) ※1	HP430-1	-	VU・VP100用
排水フランジ (塩ビ配管用) ※1	HP430-7	-	VU・VP75用
排水フランジ (鉛管用) ※2	T53WR75	-	75mm排水管用
排水フランジ (鉛管用) ※2	T53WR100	-	100mm排水管用
樹脂プラグ ※3	HH04060	-	φ8 (10個/1組)

※1 排水管が塩ビ管の場合 ※2 排水管が鉛管の場合 ※3 床材がコンクリート・モルタルの場合

同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

排水ソケットセットとしてご購入いただいた場合		固定金具類	化粧キャップ類
新設	リモデル		
便器接続部 (1個) ※ゴムジョイント付き	便器接続部 (1個) ※ゴムジョイント付き	固定片 (1個)	ワッシャー (後固定用) (2枚) 木ねじ (後固定用) (φ4.8×90:2本)
フランジ接続部 (1個)	横引管 (1個) フランジ接続部 (1個)	Tボルト (2本)	Pシール
		皿木ねじ (前固定用) (φ5.8×56:1本)	金属フランジ用 (1個) 樹脂フランジ用 (1個)
		木ねじ (固定片用) (φ5×50:2本)	その他
		木ねじ (便器接続部用) (φ5×50:2本)	施工説明書 (1部) 位置決めシート (1枚)

掃除口ふた部品 (掃除口付きの場合)				
パッキン (1個)	ボルト一体型止め金具 (1個)	ふた本体 (1個)	C形座金 (1枚)	施工説明書 (1部)

使用工具 (別途ご準備ください)

六角棒スパナ (呼び径4)
※掃除口取り付け用



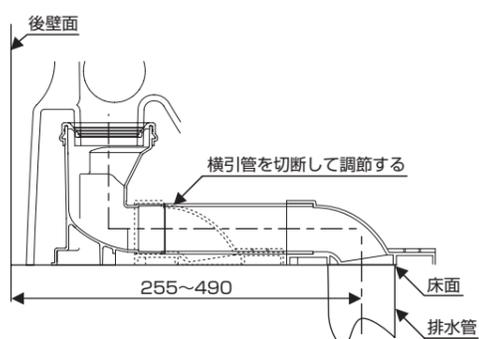
取り付け前のご注意

- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 商品への通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- 連結ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
- 給水圧力は最低必要水圧(流動時): 0.07MPa、最高水圧(静止時): 0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- 施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
- 便器洗浄付のウォシュレット、またはリモコン便器洗浄ユニットを設置する場合は、必ず専用品を選定ください。専用品以外の場合、便器洗浄機能が正常に作動しません。
[専用品] 便器洗浄付ウォシュレット: TCF***EAK
リモコン便器洗浄ユニット: HE30系
- 掃除口付きの場合は、メンテナンスのために便器中心から横壁まで375mm(作業可能な最小寸法)以上の空間を設けてください。なお、TOTOが推奨する標準寸法は400mmとなります。
- 施工前には、埋設されている給水配管などの破損を防止するため、位置を確認してください。

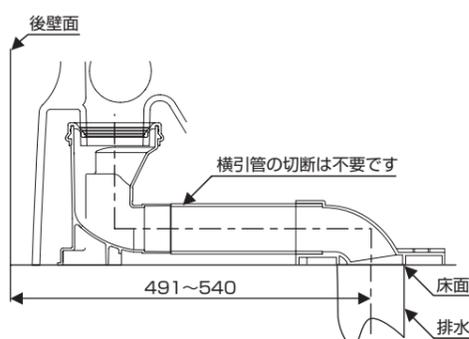
排水心の確認

- 排水心255~490mmの場合
横引管を排水心にあわせて切断し、塩ビ接着剤で確実に接着してください。

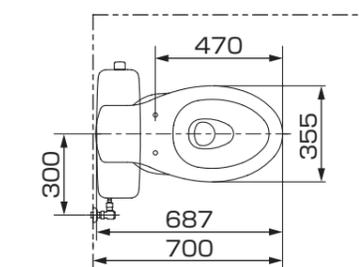
※排水心255mmの場合、横引管は不要です。



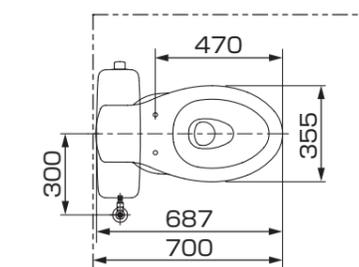
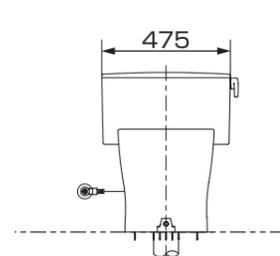
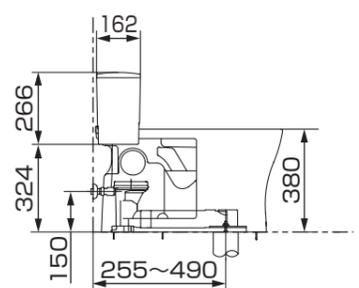
- 排水心491~540mmの場合
横引管の切断は不要です。便器を前にずらして施工してください。



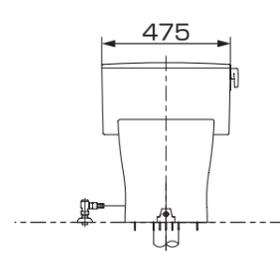
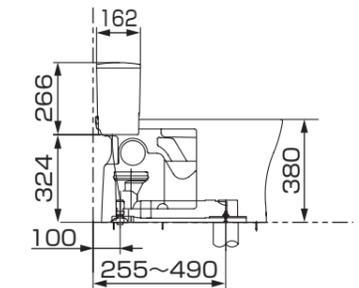
例) C730からの取り替えの場合、排水心が壁から540mmにあるため便器と壁とのすき間は約60mmとなります。



商品セット図 (施工完了図) 壁給水タイプ
(単位: mm)

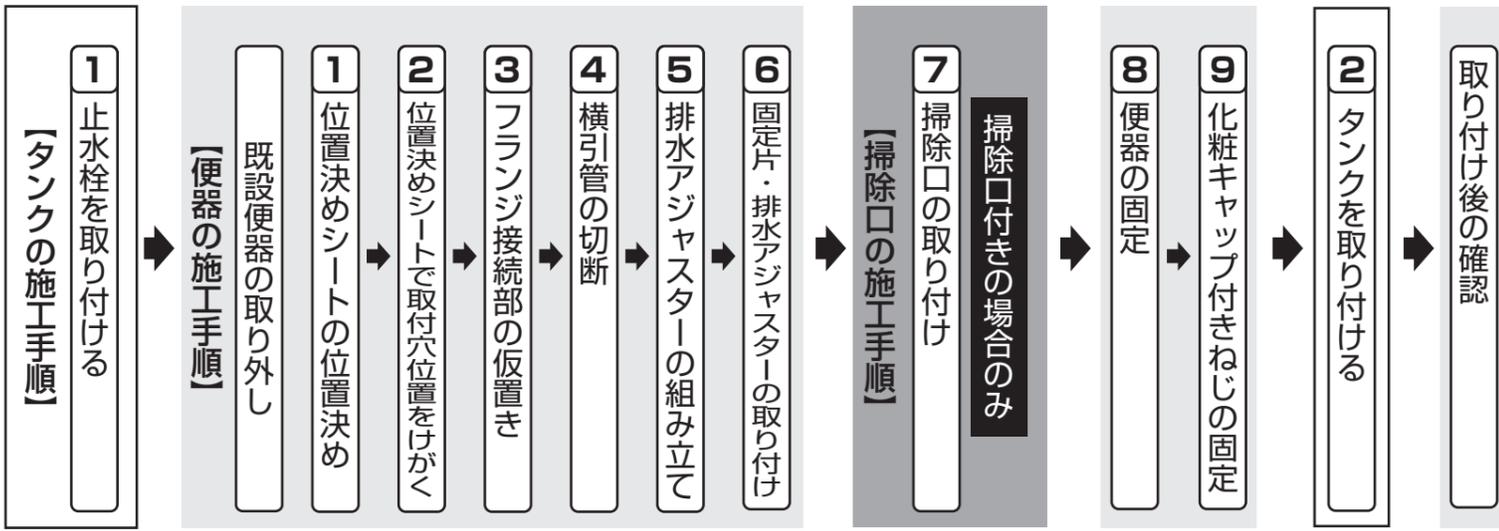


商品セット図 (施工完了図) 床給水タイプ
(単位: mm)



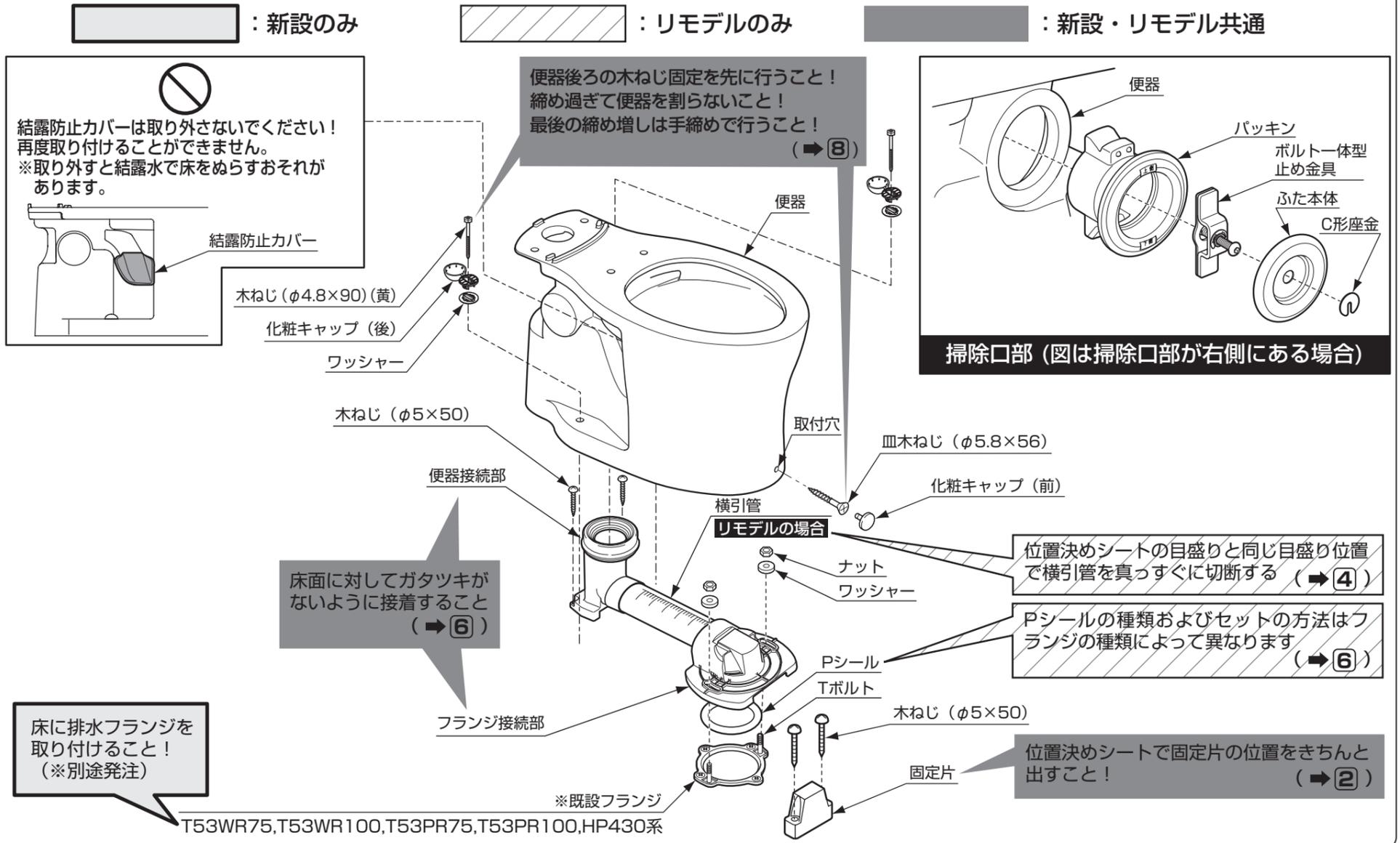
施工手順

この施工手順に従って便器・タンクを正しく取り付けてください。( は本紙、  はタンク、  は掃除口の施工説明書を参照ください)



※左記は位置決めシートと床給水管が干渉しない場合の施工手順です。干渉する場合は5ページをご参照ください。

各部のなまえと施工のポイント



取り付け前に

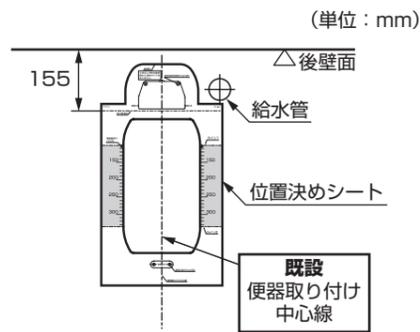
既設便器の取り外し

既設の便器を取り外し、Pシールをきれいに取り除く。

取付方法

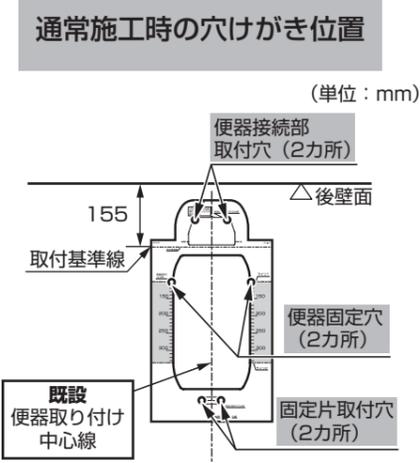
位置決めシートと床給水管が干渉しない場合の取付方法になります。
位置決めシートと床給水管が干渉する場合は5ページをご参照ください。

1 位置決めシートの位置決め



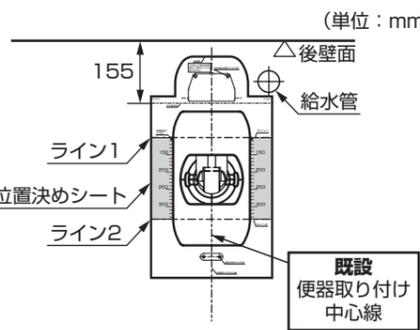
- 給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。
※給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがありますので、ご注意ください。
- 既設便器中心に、後壁面から155mmの位置に位置決めシートの取付基準線をあわせて置く。
※取付基準線の位置決めは左右の2カ所で行ってください。
※後壁面から取付基準線の寸法が155mm未満になると、便器やタンクが後壁面に干渉し、取り付けられないおそれがあります。
※寸法出しの際は後壁面から行ってください。(幅木からではありません)

2 位置決めシートで取付穴位置をけがく



- 便器接続部取付穴位置および固定片取付穴位置、便器固定穴位置をけがく。
- 鉛筆など(あとで消せるもの)で便器取り付け中心線をけがく。
- けがいた取付穴位置にφ3程度の下穴をあける。
※φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

3 フランジ接続部の仮置き

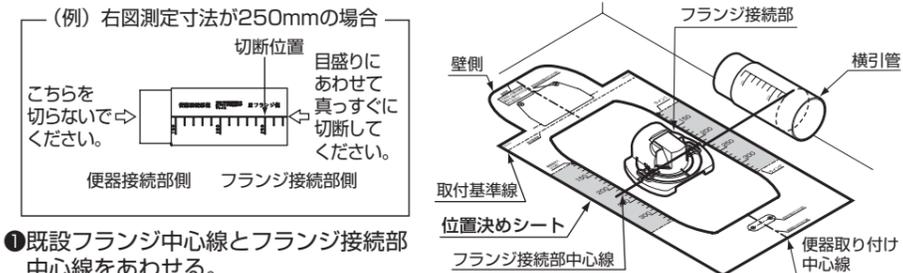


注意
フランジ接続部の仮置きは、壁面に対し平行となるように置いてください。
傾けて置くと、横引管の切断が正確にできなくなります。

ケース①	ケース②	ケース③	ケース④
フランジ接続部中心線がライン1とライン2の間にある	フランジ接続部中心線とライン1が一致	フランジ接続部中心線とライン2が一致	フランジ接続部中心線がライン1とライン2の間でない
目盛りにあわせて横引管切断	横引管不要	横引管切断不要	横引管切断不要
4へ	5へ	5へ	位置決めシートを手前にずらして、ライン2とフランジ接続部中心線をあわせる ライン2とフランジ接続部中心線をあわせる 5へ

4 横引管の切断 **リモデルの場合**

※新設の場合はこの作業は不要ですので5へ進んでください。



- 既設フランジ中心線とフランジ接続部中心線をあわせる。
- 位置決めシートの目盛りと同じ目盛り位置で横引管を真すぐに切断する。
- 横引管端部のバリを完全に取り除く。

5 排水アジャスターの組み立て

※新設の場合、横引管はありません。

注意
横引管は最後まで、きちんと押し込む
接着が不十分な場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因になります。

必ず実行
床面に対してガタツキがないように接着する
ガタツキが大きいと水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因になります。



6 固定片・排水アジャスターの取り付け

注意
Pシール取り扱い上の注意

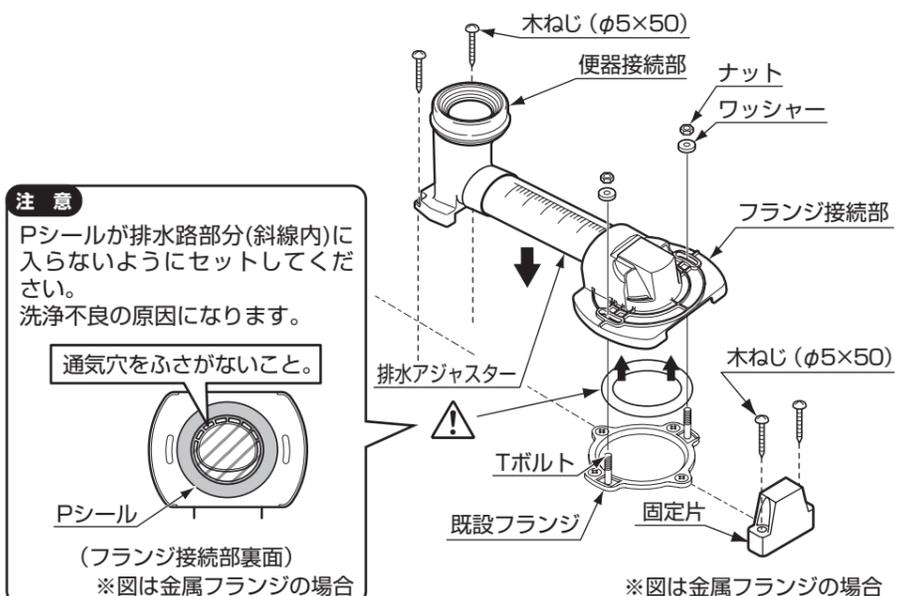
- 既設のフランジのタイプにあわせ、必ず同梱(再取り付け時は同品番)の金属フランジ用Pシール(補修品番: TH633)または、樹脂フランジ用Pシール(補修品番: TH633-3)を使用する
- 既設のフランジタイプによって、Pシールのサイズと取付方法が異なるので、注意する

Pシールを間違えて取り付けると、洗浄不良などの不具合や便器が詰まり汚水があふれたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

(樹脂フランジ用)
Pシールは溝にきちんと取り付けてください。

(金属フランジ用)
Pシールは溝にきちんと取り付けてください。

- 樹脂フランジの場合 Pシール(樹脂フランジ用)をフランジにセットする。
金属フランジの場合 Pシール(金属フランジ用)を排水アジャスターにセットする。
- 排水アジャスターをフランジに押し付けてから、便器接続部の取付穴(2カ所)に木ねじを入れ、確実に締める。
- フランジ接続部をワッシャー・ナットで既設フランジに固定する。
- 固定片を所定の位置にあわせて、木ねじで床に固定する。



※気温が下がるとPシールが固くなる場合があります。このときは、20~30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用してください。

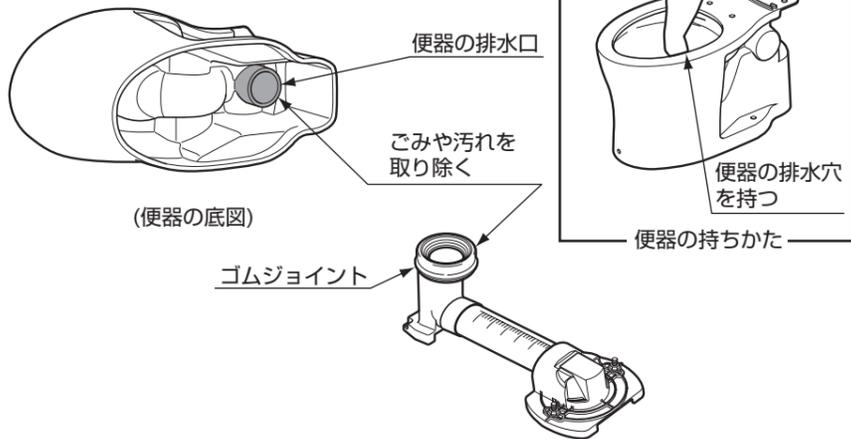
7 掃除口の取り付け 掃除口付きの場合

掃除口の取り付けは掃除口同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

8 便器の固定

① 便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除き、便器排水口を排水ソケットに差し込む。

※便器の持ちかたは右図を参考にしてください。



② 便器後側の取付穴（2カ所）を木ねじ、ワッシャー、化粧キャップ（後）で固定する。

※締め過ぎて便器を割らないように注意してください。

③ 便器前側の取付穴に皿木ねじを差し込み、固定片に便器を固定し、ねじの頭に化粧キャップ（前）を差し込む。

※便器前側を固定する際は、床にけがいた印（図A）と便器前方の穴をあわせてください。

※最後の締め増しは、手締めにより行い便器を割らないように注意してください。

⚠ 注意

必ず実行 便器後部の固定を必ず先に行う
前側の固定を先に行くと便器が後方へスライドし、ゴムジョイント部から水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



床面に不陸がある場合、大便器下面にかい物をして大便器を固定したあと、すき間を白セメントなどで埋めて仕上げてください。

すき間は白セメントなどで埋めて仕上げる

かい物

※壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

9 化粧キャップ付きねじの固定

<取り付けかた>

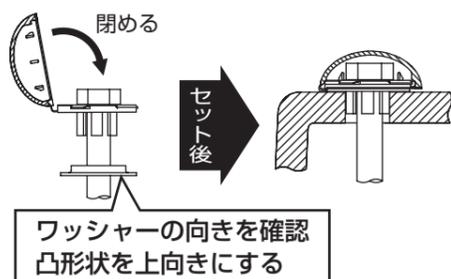
① 化粧キャップを開け、木ねじを取り付ける。



② 化粧キャップを矢印の方向に曲げて、「パチッ」と音がするまで押し込む。

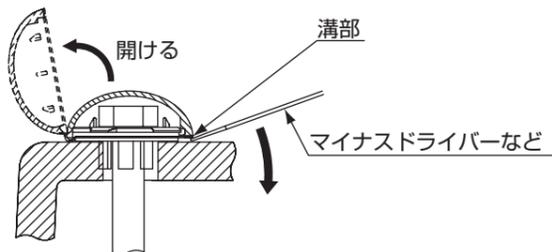
⚠ 注意

必ず実行 ワッシャーは正しい向きに取り付ける
反対向きに取り付けると陶器または部品が破損するおそれがあります。



<取り外しかた>

マイナスドライバーなどを使用し、化粧キャップの溝部に差し込み、矢印の方向に押さえて開く。



タンクの取り付け

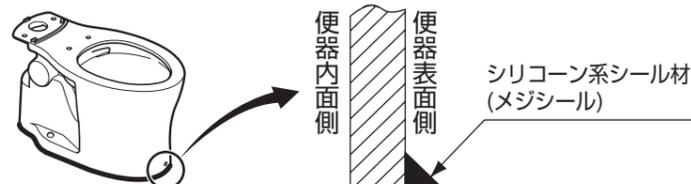
タンクの取り付けはタンク同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

取り付け後の確認

- ・試運転（洗浄）後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- ・陶器表面に傷などが無いことを確認してください。陶器表面に金属類（時計のバンド、ベルトのバックルなど）が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で軽くこすって除去してください。
- ・施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ（コーキング剤、配管用接着剤など）の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤（研磨剤なし）を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング（木質系）を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。フローリング（木質系）を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シーラ材（メジール）を充てんすることをおすすめします。



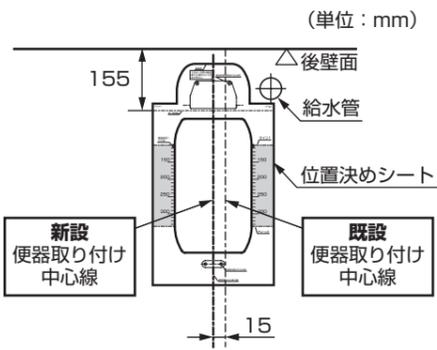
※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

位置決めシートと床給水管が干渉する場合

排水アジャスターを傾けて取り付けることで、給水管と干渉せずに施工することができます。

1 位置決めシートの位置決め

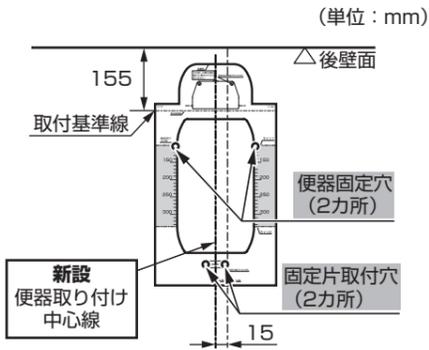


- 給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。
※給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがありますので、ご注意ください。
- 便器中心線を、給水取り出し位置とは反対側へ15mmずらした位置に中心線をけがく。
- けがいた中心線に、後壁面から155mmの位置に、位置決めシートの取付基準線をあわせて置く。

※取付基準線の位置決めは左右の2カ所で行ってください。
※後壁面から取付基準線の寸法が155mm未満になると、便器やタンクが後壁面に干渉し、取り付けられないおそれがあります。
※寸法出しの際は後壁面から行ってください。(幅木からではありません)

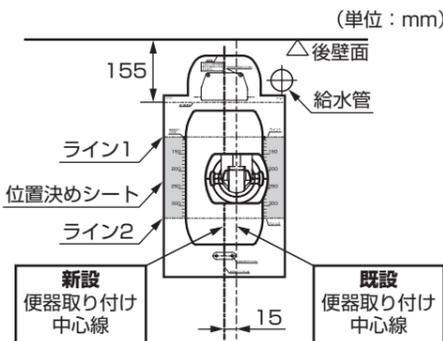
2 位置決めシートで取付穴位置をけがく

位置決めシートと床給水管が干渉する場合の穴けがき位置(4カ所)



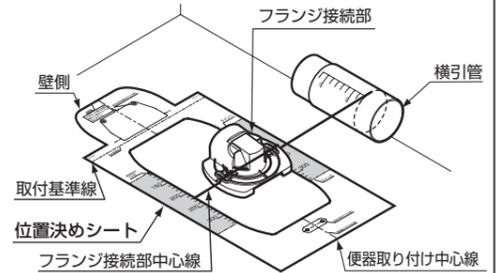
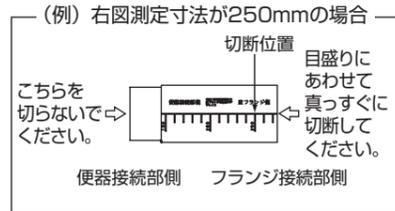
- 固定片取付穴位置、便器固定穴位置をけがく。
※ここでは、便器接続部取付穴位置はけがかないでください。
- 鉛筆など(あとで消せるもの)で便器取り付け中心線をけがく。
- けがいた取付穴位置にφ3程度の下穴をあける。
※φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

3 フランジ接続部の仮置き



注意
フランジ接続部の仮置きは、壁面に対し平行となるように置いてください。
傾けて置くと、横引管の切断が正確にできなくなります。

4 横引管の切断



- 既設フランジ中心線とフランジ接続部中心線をあわせる。
- 位置決めシートの目盛りと同じ目盛り位置で横引管を真っすぐに切断する。
- 横引管端部のバリを完全に取り除く。

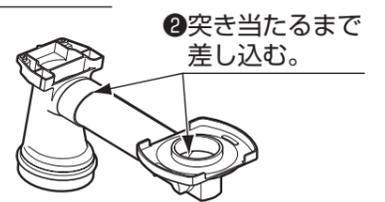
5 排水アジャスターの組み立て

注意

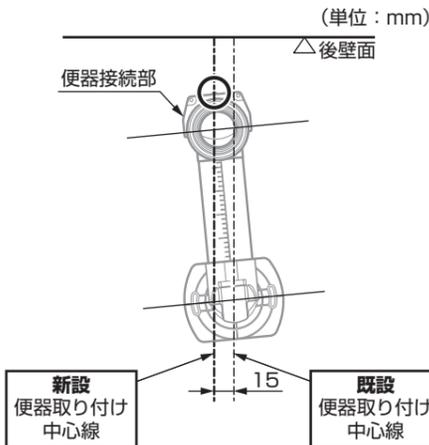
横引管は最後まで、きちんと押し込む
接着が不十分な場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因になります。

必ず実行
床面に対してガタツキがないように接着する
ガタツキが大きいと水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因になります。

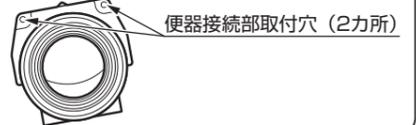
- 塩ビ用接着剤を十分塗布し、各中心をあわせるように組み立てる。



6 便器接続部取付穴位置をけがく



- 排水アジャスターを排水管に仮置きする。
- 便器接続部の台座後方中心(凸部先端)を新設便器取り付け中心線のラインと合う位置まで排水ソケットを傾ける。(○印部)
- 便器接続部取付穴位置(2カ所)をけがく。
※鉛筆など(あとで消せるもの)で、便器接続部の取付穴を直接けがく。



以降の作業は、3ページ「取付方法 6～9」に従って作業してください。

